

まちづくり懇談会内容

日 時：令和 5 年 11 月 5 日（日） 16：00～17：35

場 所：北学田公民館

出席者：12 名

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認及び進め方の説明

3. 懇談

（１） これからのまちづくりについて（資料①）

（２） 自由懇談

教育長説明

4. その他

○ごみ分別内容の変更（資料②）

5. 閉会 町長挨拶

懇談会終了

《懇談内容》

【自由懇談】

町民： 近年一度に雪が降ることが多い。そのような時に郊外の路線だと除雪車両で押せないくらい雪が降り積もることや、吹き溜まる箇所があり、雪をはねられないことから帰ることがあり、何日か除雪に来ないことがあるのでそのような場合には、連絡をいただければと思う。

町長：他の地域でも吹き溜まりなどによる意見がある。何日も来ないのは始めて聞きました。確かに吹き溜まると通行できなくなり、事故にもつながるので、この関係については、組合と連携をしながら、何とか対処しているという実態ですが、行けないケースもあると思う。

町民：雪の影響によりスクールバスが通れないので路線が変わることがある。スクールバスの人もはねられてないことを分かっていると思う。

町長：議会ともやり取りしていて、町、組合だけでは難しい場合など、地域と連絡を取り、また少し協力もいただきながらの意見もある。今回の検討委員会メンバーには地域の皆様にも入っていただいていますので、協力し何日も通れない状況にならないように、対処したいと思います。検討委員会の方に今回の意見を伝えて、その部分も検討していきたいと思います。その場所は決まっているのでしょうか。

町民：決まっているというか、吹き溜まりしやすい場所です。

町長：データ蓄積をして、そのようなことにならないように、風が影響する時もあると思いますが検討していきます。

町民：王子の森の跡地にキャンプ場ができるという話があったと思いますが、2025 年頃の予定でしょうか。

町長：以前より町から歴史的な町の財産なので、放置しておくのではなく、何か活用したいと前々から打診をしていました。所有者の方の考えもあり、薬草畑を去年まで手掛けられていましたが、それがうまくいってないようで、所有者の方から町で計画があるのであればと話をいただき、議会の方へも相談して用地購入する交渉に入りましたが、所有者の方から待ったがかかり、この話がストップしている状況です。そのため、ここ2〜3年では何か行うことが難しいと思っているところです。前に町が提案していたのは、多くのお金をかけないで自然を生かしたキャンプなどができるようなことを提案していたのですが、一部ですが森林管理をSDGSの関係で取り組まれる企業がありますので、もしかしたらその管理を所有者からの交渉次第ですが進む可能性はありますが、ここ数年で町が何かをすることはストップしています。

町民：その場所の管理は、町は関わっていないということですか。中学校の前の路面が草の影になって危ないという話があり、伐採したことがあり、それは所有者が伐採したのか、所有者に町が依頼して行ったのかどちらでしょうか。道路の坂をあがると、所有者の杭が立っているところまでは綺麗に草刈りしてくれているのですが、自分の農地に隣接しているところの管理は農家がやるものだと思います。改良区の関係もあるのか分からないが、管理しないといけない。所有者では、管理敷地は、草刈しているが、道路の路肩は刈っていない。管轄でないと言われたらそこまでですが非常に危ない。道路際の草を全く刈っていなく、草が張り出して、対向車同士が交差する時に交わすのも危ない。町の管理でないにしろ何かあった時に、どこが所有者に対して言えばいいのか。また、自分の農地の隣接地に最近では鹿も頻繁に出る。そこが利用されてないためにこのようなことが起きていることも考えられる。鹿を追いかけて熊が出没した際は大変なことにもなる。鹿は、市街地近くでは、撃てない状況であるのも悩みどころです。自然豊かでいいけど、弊害も結構あります。キャンプ場ができるのではないかと聞いたのは、キャンプ場ができることによって人が出入りし食べ物とかの残飯に鳥獣が寄ってくる心配もあって発言させていただいた。所有者に対して私も直接言わなといけないと思いますが、住宅街

も隣接していますし、道路も隣接しているので、町が言うべきことがあるのであれば言うていただきたいという要望です。

町長：境界も調べなければならないと思います。状況確認させていただいて管理の部分で、交通事故の原因となる影響もあるので、周辺の境界も含めて調査いたします。

町民：学校の件ですが、ここ数年間に住民の方から今後どうするか声があがってきて、教育長の説明で相対的な感じは分かりますけど、色々な意見で、どのような心配事があって、どうして欲しくないかっていうことを具体的に今言えることはありますか。

教育長：教育委員会としては、現在ゼロベースです。国の考え方とか道の考え方、適正規模の基準がありますので、その資料については提示いたします。また、今後の児童生徒数の推移も参考にしながら提示しています。後は、学校では、ハード面、ソフト面。例えば、ハード面というと施設関係であります。そのような話も、現状を全て話させていただいた中で議論していこうかと考えています。以前のまちづくり懇談会でも出ていましたが、今後5年、10年後に、その時になってするのでは遅いので、その前に現時点でどういうことをしなければならないか話は出てくるかなと思います。

町民：具体的に言いますが、中学校体育館の屋根が非常にボロボロですが、ハード面ということを書いていましたが、既存の施設に手を掛けないと壊れるのが早くなる。例えば、大学には、大学施設を管理する部署がある。町がペンキでも塗ればもう少し長持ちすると思うのですが、そのようなのはどこが行うのでしょうか。

教育長：学校教育課で行います。計画を立て中学校の屋根の部分も要望として出てきています。ここ1〜2年の話をしますと、継立小学校の屋根は全面シートの工事を行いました。また、今年度は、栗山小学校の体育館釣り天井の問題で耐震関係の工事を行っています。大きい工事も順位をつけながら行っています。予算の関係もありますので、このような形で進めています。

町民：資料4ページの高・専一貫教育プログラムの部分で、高等学校段階栗山高校とありますが、これを行った時に生徒たちはどのようなメリットがありますか。例えば、資格を沢山取れるとか、何かの資格の項目が免除されるとかあるのでしょうか。

教育長：高校生の部分では、現在、高校一年生から始めています。高校3年間の中でカリキュラムの組み替えをきちんと行わなければならないのですが、昔で言うと旧ヘルパー2級の免許もこの時間と組み合わせれば取れるメリットがあります。また、福祉の町としての観点から、ヤングケアラー条例の関係で、基礎知識として学んで科目としての位置付けも行っています。一年生で、現在3名が介護福祉学校を目指し入学した生徒がいます。そのようなことを考えながらカリキュラムを作ってスタートしています。ただ、これも半年1年ごとに課題と現状を出していきながら変わってくると思いますが、これから高齢化社会となり、知識を身につけた児童生徒を栗山町としては育てていきたいということです。

また、高校の二間口の維持も含めて、この話がないと高校生野球の子どもたちもほぼ全国公募を野球だけでは行えない。福祉介護ということのカリキュラムを通して文科省の申請が通っており、抱き合わせで行っていますので、実際は野球ですがこの辺りはご理解ください。

町民：そうであるのあれば、例えば介護福祉学校の卒業生が栗山で働きたい時に職場がないといけないと思います。例えば、福祉関連施設のセンターみたいなものを作って、全道から介護が必要な人達を受け入れたりする施設を作り、卒業生もそこに入るなど、一貫で福祉の町として行うのであればそこまでやっても良いと思います。また、北広島市に医療大学が来るので、連携して介護の職場に就職できるとか、働きかけを町として行うなど、この学校に入学したいという生徒が増えるかと思います。あと栗山高校について、福祉メインで行っていますが、栗山町は農業を基幹産業としているので、福祉だけでなく、農業の資格、農業を行うための必要な学習ができる募集もした方が良いかと思います。例えば、資格を取るために、町で援助、合格したら受験料全部補助などできないかと思います。そうすると栗山高校に行けば資格が取れるという目的ができ、卒業後に使えると思う。そうすると社会に出ても必要とされる人材が育成できると思いました。

教育長：栗山高校は、普通科ですので、学校として総合的な学習の時間があります。普通科なので普通科の単位を取らないと卒業できません。ハサンベツ関連、体験学習など地域との協力など、今行っているので、カリキュラム的にはギリギリかと思っています。小中学校も高校もコロナ、インフルエンザがありますが、今まで余剰実数というのがありますが、各教科の余った時間で、これがあまり取ることをしないよう通知が来ています。今までであれば、各小中学校 50 時間から 60 時間程です。これは小学校 5 年生と中学校 2 年生を基準にしています。それを半分程に削らないということになっています。最終決定はしていませんが、削った 30 時間程でふるさと栗山という時間を数時間確保していこうと考えており、相談中ですが、自然体験など連携を取って行こうと考えています。介護施設の関係ですが、町内に施設が結構あり、ここに地元の貢献ができる生徒ということで現在行っています。ただ、施設も需要と供給で入れない時もあれば、入れる時もありますので、入れる時に置いてもらっています。来年度に向けても、既に連携は施設と図っています。今、私が思っていることは、札幌、旭川にもありますが、どこも 5 割を切っています。町は、若干 40 名定員のところ 25 名程度で、どちらかというと入っている方です。函館の方は施設、今年度からなくなり介護関係については、非常に厳しい状況。介護施設だけでなく、教員、学校も定数に満たない学校が空知管内で沢山あります。先生の成り手が少なく、どの業界も大変厳しい状況と思っています。

町長：介護の問題ですが、栗山町だけの問題でなく全国の問題です。栗山町の介護学校は、9 割以上が町外から来ています。この学校で学び、それぞれの地元に戻り、そして、その絶対数が不足していて、その人たちを今ご提言のあった先端的なところにまとめて、直すということは難しいと思いますが、本来は、そのようなことは北海道が行うべきかと思っ

ていますが、北海道であれば総務省など、まず介護人材を北海道で不足するのは目に見えています。2025 年で団塊世代が一番高齢の入口になっていく時に、北海道で 4 万人近い方が不足いたします。さらに、その先は、7 万人が不足するので、北海道の介護の働き手も含めてこれからどうしていくのか訴えてきました。栗山町で行えることはまず行い、包括連携協定、他の自治体と協定し、栗山と連携自治体とが協力して介護人材を確保する取り組みですが、まずは、そこから進めて行きたいと思います。これを全道に広げたい願いではありますが、そうしないと、養成学校自体がなくなってしまうと思います。そして、介護福祉士を志す人も少なくなる。そんな時に高齢者が増えていき、ミスマッチが起きて全然、私たちの時代から若い方の時代に、介護職員もいなくなります。少し将来の見通しを立て北海道、国がしっかりとそこを行わなければならないと訴え続けて行きたいと思います。今、国も経済対策、景気が低迷しているから大事なことです、公共事業とか華やかなどころには、目が向く。しかし、10 年、20 年先を見据え介護をはじめとする福祉分野は、中々すぐに取り掛かれなく長期的な問題であります。票になるかならないかということも当然あると思います。4 年に 1 回は選挙が行われるので、まず、どこにその力を入れていくかをしっかり行っていただきたいと思います。それぞれ北海道、国で行うことが沢山あり難いと思いますが、介護の問題こそ現段階から行わなければならないと、本当に大変なことになると思います。制度的な崩壊をするだろうっていうことも専門家は言っています。20 年 30 年先に、日本中がパニックになるということです。この辺については、しっかり行っていきたいと思います。

教育長：大学の関係ですが、医療大学とはすでに提携していて、札幌の専門学校、町もそうですが、専門学校を卒業して大学に編入した場合、大学で 3 年かかります。医療大学とは昨年までカリキュラムを作ってどのような組み方を行えば 4 年で卒業できるか確立しました。今、町とは提携を結んでいますので、これから医療大学が北広島移りますが、色々なところに移っていくのかと思いますが町の専門学校 2 年、医療大学 2 年、4 年間で卒業、また、町の介護福祉士それと社会福祉士の資格取得ができる。その他に、例えば講習で取得できるものもあります。そのようなことも町の学校は増やしていますので、大学側にもそういうのがあると思います。そのような形で連携しています。田舎の方に来た大学で名前は言えませんが、現在、話を水面下でしているところです。余談ですが、大学と女子野球の話も出てきています。

町民：女子硬式野球部の活動支援で、栗山監督のニュースから有名になり、高校の部活に対して町が支援することは珍しいと思っていますが、実際に町が野球部の支援というのは、具体的に下宿、住む場所の確保、野球部の備品などと聞きましたが、その他に例えば特待生の扱いになるのでしょうか。

教育長：私立高校は特待生の形をとっていますが、旭川明星高校、苫小牧駒沢高校が行っています。公立高校に特待生制度はないので、入選の枠内で行っています。ただ、先ほど言

ったとおり、高専一貫の授業を受けたことになり、道教委が全国公募して良いことになっています。ただ、本州の方からの推薦枠というのは、1.6名で2名に達してないので、昨年は2名にさせていただきたいとやり取りいたしました。81名2間口となると、現状では、誰が受けも合格する状況です。

町民：先ほど30名程といったと思いますが。

教育長：野球の練習に来ていただいた方が30名です。

町長：今年14名が入り、来年も同じくらい入ると考えられます。スポーツで色々ありますが、その中で人口減少を社会の中で唯一スポーツ人口が伸びているのが女子野球で、伸びしろがあります。そして今プロ野球の傘下になっているのが、ジャイアンツ、阪神、西武で、その傘下に女子野球チームがあります。プロ野球の女子野球への動きがこれから出てくると思います。その辺の出口がまた見えてくれば底辺が広がる可能性がありますので、そこに我々も期待をしているところですが、持続的に集めていかなければこの先難しいので、スカウト活動、奪い合いになることが当然あります。今提言があった特待生制度ですが、単独支援として、行わなければならないという、時代が来る可能性があります。しばらくは、女子野球を核とした栗山高校の改革を進めていけるのではないかと見込んでいます。寮も来年に向けて増築予定で朝日4丁目の公園横の敷地内の空いているところに増築計画があります。

町民：寮に入れるのは、野球の生徒のみですか。

町長：野球に関係なく女子生徒です。

町民：栗山の街の中の家賃がすごく高いと思いますが。

町長：統計は取っています。近隣も調査しており、皆さん高いと言うのですが、同じくらいです。若者定住推進課があり、近隣の町の家賃を調べていますが、新築マンションは、栗山町と同じぐらいの6万円から8万円です。長沼町も同様です。

町民：町営住宅が平均で、民間が高いと思いますが。

町長：民間も同じぐらいです。新築マンションについては、同じ家賃価格です。公営住宅は、全国で統一基準なので、所得に応じて同じになります。古いアパートと新アパートで違いかもかもしれませんが、栗山町は比較的到新築マンションが多い。他町の新築マンションと比べると同じです。

町民：栗山で6万円、8万円は結構高いと思います。所得も違い都心でも全然違うと思います。

町長：昔から比べたら高いです。私は相当前ですが、栗山町に来た時は3万円ぐらいでした。その頃から結構アパートが建設されはじめ、40年ぐらい前ですがその時は3万円台でした。

町民：人が多いと回転するから空きも減ると思いますが、人口が減ると難しくなり、高くなるのかと思います。

町長：先程、企業誘致の話をしてしましたが、千歳の半導体メーカーが好影響というかそれがどこまで広がっていくというところではありますが、熊本県を中心とした九州に、北海道の半導体メーカーより大きい規模で、半導体の集積地があります。そこは、県をまたぎあらゆる工業半導体関連の集積とされた地域になっています。それを考えると、千歳を中心に少し近郊まで好影響が広がってくれば、企業だけでなく、住む人も増え、今空いている住宅は回る可能性もあります。何とか頑張っていきたいと思っています。

町民：個人的ですが、燃やせるゴミの袋に一色単に何でも入れて良いのか。生ゴミも一緒に入れていいのでしょうか。

環境政策課主幹：大丈夫です。ただし、生ゴミは水分がほぼ占めていますので、お願いとしては、なるべく水を切り、出来れば汚れた袋で構いませんのでそれに1回入れて、燃やせるゴミにまた入れていただきたいです。入れることは可能ですが、ステーションに出す際に、こぼれた、破れたなど生ゴミが出て、環境衛生上もよろしくないなので、袋に入れ、縛ってゴミを出していただきたいと思います。